

JA全農WEEKLY

4面

「受発注センターシステム」の開発・普及 JAサービスの業務課題を解決(耕種資材部)

7面



JAグループ農機サービス士検定試験の様子(7面)



香港向けにライブコマースを実施。ライブ中継に出演いただいたマンゴー部会の松田部会長(6面)

令和2年度JAグループ農機サービス士
39人を認定(耕種資材部)

- 2 山形食品が新工場を建設
(山形食品(株))
- モーダルシフトの推進で
「エコシップ・モーダルシフト優良事業者」表彰
(全農チキンフーズ(株))

- 3 優勝選手に三重県産コシヒカリを贈呈
(三重県本部)
- 令和2年度カントリーエレベーター運営
優良事例集を発行(米穀生産集荷対策部)

- 5 JAズームイン(岩手:JA江刺)

- 6 香港向けにマンゴーの
ライブコマースを実施(全農香港事務所)

- 8 「まぜるシェイク 湘南ゴールド」
今年は全国へ(神奈川県本部)

「JA全農 COUNTDOWN JAPAN」
プレゼント(広報・調査部)

JAタウンショップ紹介
おきなわ ちゅら島

Web版JA全農ウィークリーは
こちらから



<https://www.zennoh-weekly.jp/>



News!



山形食品が新工場を建設

無菌充填システムで東北のエリア需給確立を目指す

山形食品(株)



共同記者発表を行った高橋徹代表取締役社長
(中央)と富樫満則専務取締役(左)、南陽市の白
岩孝夫市長(右)



新システムは、約8cmの
ペットボトル容器の原型か
らボトル成型ができ、滅菌・
充填を工場で一貫して行え

ます。容器搬入にかかる物流
コストを大幅に削減できる
ほか、常温での充填が可能
なため、果実本来の香りや
風味が損なわれ
にくくなります。

工場内に新シ
ステムと製品倉
庫、原料保管用
冷凍庫などを新
設するほか、製
造の様子を見学
できる通路も設
置予定です。
高橋徹代表取
締役社長は「生
産者にとつての
農産物活用先と
してさらなる発
展を目指し、東
北で最先端の製
造拠点を築いて
いく」と意気込み
を語りました。

山形食品(株)は本社工場の西隣に、新たにペットボトルの無
菌充填システムを設けた新工場を建設することを発表しまし
た。5月に着工し、2022年10月から稼働予定で、約30人の
新規雇用を見込んでいます。

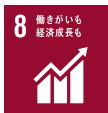
News!



「エコシップ・モータルシフト優良事業者」表彰

トレーラーによる大量輸送でCO₂削減に貢献

全農チキンフーズ(株)



フェリーへの入船(※イメージ写真)

同社は、宮崎・鹿児島・
岩手に生産拠点を置き、農
場生産から処理・加工、販
売まで一貫した事業をおこ
なう国内最大級の鶏肉取扱
会社です。堅調な需要を背景
に生産量は拡大しています
が、社会問題ともいえる物
流危機により、「増えた荷物
を消費地に運べなくなる」と
いう懸念が生じ、抜本的な
合理化・改善に取り組ん
できました。

その一環として、南九州
から関西方面への長距離輸
送を、パレット化と専用ラッ
クで積載効率を向上した
24メートルとフェリー
による海上貨物輸送に切り
替え、CO₂削減に貢献し
たことから「エコシップマ
ーク認定事業者」の認定を受け
ました。

全農チキンフーズ(株)は、鶏肉の長距離輸送におけるモー
ダルシフトの推進により、エコシップ・モータルシフト事業実
行委員会から「エコシップマーク認定事業者」に認定されると
ともに、環境負荷の低減に貢献した「エコシップ・モータル
シフト優良事業者」として国土交通省から表彰されました。

また、「エコシップマーク
認定事業者」の中でも特に環
境負荷の低減に貢献したこ
とが認められ、令和2年度
の「エコシップ・モータル
シフト優良事業者」として、
国土交通省から表彰されま
した。
今後も持続可能な社会の
実現に向けた取り組みをす
めます。

※モータルシフトとは、トラックなど
の自動車で行われている貨物輸送
を環境負荷の小さい鉄道や船舶の
利用へと転換すること(国土交通
省ホームページより)。



優勝選手に三重県産コシヒカリを贈呈

県産米を広くPRし、認知度向上と消費拡大

三重県本部

会場に掲出された副賞看板



金谷選手に米俵を手渡す谷口会長



2年ぶりに開催された今大会は、無観客で実施されました。4月15日から18日にかけて、三重県桑名市の「東建多度力ントリークラブ・名古屋」で予選・決勝ラウンドが行われ、トッププロから138選手が出場しました。

三重県本部からの県産米贈呈は今回が15回目。全国から注目される大会で、会場やメディアを通じて県産米を広くPRし、認知度向上と消費拡大につなげます。

三重県本部は、JAPANゴルフツアー開幕戦「東建ホームメイトカップ2021」で優勝した金谷拓実選手に、副賞の三重県産コシヒカリ600kgを贈りました。大会最終日の表彰式で、谷口俊二運営委員会会長が目録に代えて米俵を金谷選手に手渡しました。



令和2年度カントリーエレベーター運営優良事例集を発行

受賞した6施設の取り組みを紹介

米穀生産集荷対策部

令和2年度CE運営優良事例集



この受賞6施設の優れた取り組み内容について、(公財)農業倉庫基金などの協力のもと、運営優良事例集として取りまとめ、4月に全国の会員(242JA、737施設)に配布しました。

※受賞した6施設

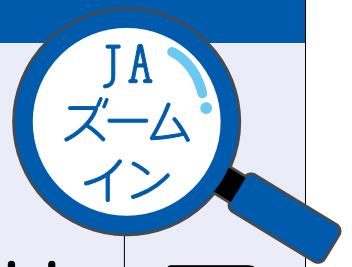
農林水産大臣賞：昭和カントリーエレベーター(JA筑前あさくら／福岡)、政策統括官賞：南部カントリーエレベーター(JA西三河／愛知)、全国農業協同組合連合会会長賞：東松島カントリーエレベーター(JAいのまき／宮城)、(公財)農業倉庫基金理事長賞：豊里カントリーエレベーター(JAみやぎ登米／宮城)、全国農協カントリーエレベーター協議会会長賞：花巻東部カントリーエレベーター(JAいわて花巻／岩手)、立川カントリーエレベーター(JA庄内たがわ／山形)

CE協議会は5年に一度、農林水産省・(公財)農業倉庫基金・全農の後援のもと、運営管理や米麦の品質管理などで模範となる優良なカントリーエレベーター(以下、施設)を選出する「優良農協カントリーエレベーター表彰式」を開催しており、昨年度、全国から6施設を表彰しました。

この受賞6施設は、(公財)農業倉庫基金などの協力のもと、運営優良事例集として取りまとめ、4月に全国の会員(242JA、737施設)に配布しました。

現在、全国の施設の多くは、施設の老朽化対策、稼働率向上のための集約・再編、衛生管理の取り組み、オペレーター育成などさまざまな課題を抱えています。そうした課題解決の一助となるよう、当協議会は関係機関と連携しながら、優良事例の水平展開、各種研修会・表彰の開催、情報発信などに引き続き取り組んでいきます。

全国農協カントリーエレベーター協議会(以下、CE協議会)、会長ⅡJA上伊那御子柴茂樹代表理事組合長、事務局Ⅱ米穀生産集荷対策部)は、令和2年度優良農協カントリーエレベーター表彰で受賞した6施設の取り組み事項について、運営優良事例集を作成し、会員に配布しました。



「江刺金札米」ブランド100周年

持続可能な農業を次世代につなぐ

岩手県奥州市内江刺地域をエリアとするJA江刺では、「江刺金札米」「江刺牛」「江刺りんご」「江刺野菜」の4つのブランドを柱とする農業を展開しています。

「赤札」から「金札」へ 品質でその名を轟かせる

「江刺金札米」は令和3年に100周年を迎えます。江刺地域では、大正10年に誕生した品種「陸羽132号」にいち早く着手し、「品質の良い岩手江刺米」のPRとして「赤札」を付けて販売し

話題を呼びました。その後、岩手県穀物検定所の許可を得て「金札」を付することとなり、「江刺金札米」の名を世に轟かせました。

環境に配慮した 江刺金札米を次世代へ

JA管内で取り組む農業は「江刺型農業」と呼ばれています。農地から生まれる稲わらを家畜の餌や敷料に利用し、堆肥は農地へもどすといった、循環を基本とする「耕畜一体」の農業を展開してきました。平成13年から稼働を開始した「JA江刺大地活力センター」では、畜産農家の牛ふんを主原料に、もみ殻や米ぬかなどを混合し、高温発酵処理した製品たい肥を生産・販売。家畜の排せ

JA 江刺 (岩手県)



概要

令和3年3月31日現在

正組合員数	3911人
准組合員数	1724人
職員数	136人
販売品取扱高	57億7千万円
購買品取扱高	18億9千万円
貯金残高	511億円
長期共済保有高	1540億3千万円
主な農産物	江刺金札米、江刺牛、江刺りんご、江刺野菜(キュウリ、トマト、ピーマン)など



環境に配慮した新たな取り組みとして導入したバイオマス素材を30%使った業務用米袋

慮した安全・安心の取り組みに地域が一丸となって取り組んでいます。

令和2年には生物由来のバイオマス素材を30%使用した業務用米袋を導入。次の100年を見据え、より環境に配慮した取り組みを実践しながら次世代へとバトンをつなぎます。



米作りの技術・情熱、恵まれた土地を受け継ぎ100年を迎える産地江刺



「江刺金札米」100周年を迎えるにあたり、感謝を込めて作成したポスター



稲の生育調査

香港向けにマンゴーのライブコマースを実施

J Aこばやし管内のマンゴー圃場からライブ中継

全農香港事務所とJA宮崎経済連は5月8日、香港消費者向けに宮崎県産マンゴーのライブコマースを実施しました。

【全農香港事務所】

LIVE

マンゴー圃場からライブ中継



マンゴー部会の松田部会長



マンゴーのカット方法を
宮崎経済連職員が実演



ライブコマースとは、今、中国で急速に発展するEコマースの一つで、生中継で動画を配信し、商品を紹介して購入してもらうという販売の形態です。今回、JAこばやし管内のマンゴー圃場から全農インターナショナル香港(株)のSNSチャンネルのライブ中継を通じて、宮崎県で旬を迎えた「マンゴー」の魅力を紹介しました。

海外の消費者の
生の声が聞ける
ライブコマース

当日はマンゴーの花の咲き方、生育方法のほか、高級ブランド「太陽のタマゴ」の糖度をその場で実際に測っておいしさをPRしました。ライブコマースはネットショップで、顧客と密接なコミュニケーションをとることができます。視聴者から「少し声が小さいよ」と意見が出たり、識別番号としてJA名と生産者コードがマンゴー

の表皮に印字されているという説明に対して「どのように印刷するのか?」といった質問が入りました。生産者と消費者が双方向でコミュニケーションを取りながら進めることができるライブコマースによって、週末だけで1000個以上の注文が入りました。注文の多くは、「母の日」のプレゼントとして配送され、大変喜んでいただきました。

出演いただいたマンゴー部会の松田泰一部会長からは、「宮崎にしながら、実際に海外の消費者の方にPRすることができて大変良い取り組みだと思う」とコメントをいただきました。

海外市場は常に他国産地との競争が激しい市場です。全農は、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になることをモットーに、海外市場においても、生産者の声をお届けするなどの工夫をし、日本産農畜産物のより一層の輸出拡大に取り組めます。



「JA全農香港チャンネル」
はこちら

<https://www.youtube.com/channel/UCSQL2Zky5D4fd-wL90LvJ-A>



実演した「花咲きカット」や「ローズカット」



旬を迎えた宮崎県産マンゴー

令和2年度

JAグループ農機サービス士 39人を認定

技術力向上で組合員との信頼強化へ

全農は令和2年度JAグループ農業機械検定の1級合格者10人、2級合格者29人を新たにJAグループ農機サービス士として認定しました。【耕種資材部】

12 つくる責任
つかう責任



事前講習の様子



検定試験の様子

JAグループ農業機械検定は、経験年数に応じた農機担当者のスキルアップを目的として、実際の修理・整備に必要な知識・技能や、メーカー固有の機構・新技術、納品・安全指導など、より業務に密着した内容を試験に取り入れて実施しています。

令和2年度は1級51人、2級91人が受検し、学科試験と実技試験の両方で合格基準に達した1級10人(合格率20%)、2級29人(合格率32%)をJAグループ農機サービス士として認定しました。この検定は平成23年度から実施しており、今回の合格者を含め、累計365人(1級66人、2級299人)のサービス士が全国の農機センターで活躍しています。

この検定により、JAグループ農機担当者の一層の知識習得と技術力向上を促し、組合員との信頼がより一層強化するものと期待しています。令和3年度のJAグループ農業機械検定は、6月公示、11月学科試験の予定です。

令和2年度 JAグループ農機サービス士 認定者氏名

等級	氏名	県名	所属
1級	小林 貴範	山形	JA庄内みどり
	後藤 和幸	山形	JA庄内みどり
	石橋 賢一	千葉	JA成田市
	利川 翔太	滋賀	全農滋賀県本部
	藤原 修	島根	全農島根農機事務所
	末次 恭大	島根	全農島根農機事務所
	三浦 俊介	島根	全農島根農機事務所
	田中 理	山口	全農山口農機事務所
	臼井 浩之	山口	全農山口農機事務所
	戎谷 啓	本所	全農本所
2級	高橋宗一郎	岩手	JAいわて中央
	黒江 将伸	福島	(株)JAふくしま未来サービス
	平野 正樹	千葉	JAちばみどり
	塩倉 篤	東京	JAマインズ
	杉浦 稜	静岡	JA大井川
	勝又 厚	静岡	JA御殿場
	橋本 憲司	岡山	JA晴れの国岡山
	小玉 裕也	広島	JA広島中央
	田中 常広	福岡	JA北九
	西村 和浩	佐賀	JAさが
	吉末 幸司	佐賀	JAさが
	江口 雅人	佐賀	JAさが
	神尾 新吾	長崎	JAながさき県央
	廣松 卓	熊本	JA菊池
	竹脇 優志	宮崎	JA宮崎経済連
	渥美 大峻	宮城	全農宮城県本部
	佐藤 洋平	福島	全農福島県本部
	須永 望	群馬	全農群馬県本部
	北野 吉則	滋賀	全農滋賀県本部
	内藤 将也	京都	全農京都府本部
	山添 悟史	京都	全農京都府本部
	藤原 孝	島根	全農島根農機事務所
	杉 尚亮	島根	全農島根農機事務所
	松島 慎一	島根	全農島根農機事務所
	竹内 恒揮	高知	全農高知農機事務所
	二戸部 将	本所	全農本所
	藤田 裕貴	本所	全農本所
	煙山 智司	本所	全農本所
	蜂谷 健太	本所	全農本所

「まぜるシェイク 湘南ゴールド」今年は全国へ

モスバーガー、JAかながわ西湘と共同開発

神奈川県本部とJAかながわ西湘、株式会社モスフードサービスは5月20日、湘南ゴールド果汁を使ったドリンク「まぜるシェイク 湘南ゴールド<神奈川>」を、全国のモスバーガー店舗で発売しました。【神奈川県本部】

(株)モスフードサービスは地元愛をテーマに地産地消や地域活性化を応援する取り組みを行っており、今春から秋にかけて全国を8エリアに分けて地域食材を使った「まぜるシェイク」を期間限定で発売しています。昨年の「まぜるシェイク 湘南ゴールド」はエリアを限定した販売でしたが、今年は販売エリアを全国に拡大しました。この取り組みで、湘南ゴールドは第3弾になります。

今回発売された「まぜるシェイク 湘南ゴールド<神奈川>」は神奈川県本部が果汁加工した湘南ゴールド(JAかながわ西湘産)を使用しています。

爽やかな香りが人気の湘南ゴールドのソースと、甘さ控えめで飲みやすいモスバーガーのバニラシェイクが調和した、これから気温が高くなる季節にうってつけの味わいです。

湘南ゴールド生産部会「SG21」の会長を務める榎本昌之さんは「たくさんの人に香りが豊かで爽やかな味わいを楽しんでもらいたい」とコメントしました。



第3弾は神奈川県
の湘南ゴールドと
北海道の赤肉メロン

価格(税込み) Sサイズ310円、Mサイズ380円。
7月中旬まで販売予定

全農 ZEN-NOH

COUNTDOWN JAPAN リスナープレゼント

6月5日放送のプレゼントは、「鳥取らっきょう甘酢漬け 200g×5袋(甘口3袋・ピリ辛2袋)」です。

6月6日は「らっきょうの日」。全国屈指の生産量を誇る鳥取県のラッキョウは、広大な砂丘地で育ちます。夏は表面温度60度、冬は氷点下になる砂丘ならではの厳しい環境で生育したラッキョウは真っ白できめが細かく、美しい外観になります。

薄い皮が幾重にも重なりあうことでシャキシャキの歯ごたえとなり、一粒食べたらやみつきに。お酒のおつまみやカレーライスのお供にご堪能ください。

また、JAタウンギフトカード4500円分を1名様にプレゼントします。

【広報・調査部】



応募は番組ホームページで受付中です。



応募締め切りは6月5日の放送で
ランキング1位の曲が発表されるま
です。

この商品はここからご購入いただけます。

JAタウン
ショップ名

全農とっとりアグリマーケット



JA全農のインターネットショッピングモール
JAタウン ショップ紹介

おきなわ ちゅう島
(沖縄県)

沖縄県産「ポコットパイン(ボゴール)」は、手でちぎって味わう「手もぎ」のパインアップルです。ポコットもぎ取り、パクッと食べられることから、その音の響きをとって「ポコットパイン」と名付けられました。

実の芯まで柔らかく、通常のパインアップルと比べて酸味も少ないため、甘味を存分に堪能できます。ポコットパインを楽しみながら、ご自宅で南国気分を満喫してみませんか。



南国気分☆沖縄県産ポコットパイン(ボゴール)
2〜3玉、L〜2Lサイズ……1980円(税込)

ご注文は
こちらから



▶ JAタウンはこちらから <https://www.ja-town.com>
▶ お問い合わせは ☐ shop@ja-town1.com



『JA全農トピックス』の
ツイッターはこちら



私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋
になります。